

庄内ふるさと祭り作品展示

今年も作品展示は庄内地区体育館で実施しました。20団体、4個人から多くの作品の出展がありました。こども園や幼稚園はテーマに沿った大がかりな展示で楽しめました。小学校・中学校の児童・生徒さんの書道や絵の力作や、大人の方のさまざまな手作りの作品が並びました。11月3日（日）は10:00～16:00、11月4日（月・祝日）は10:00～15:00開催し811名の入場がありました。

庄内ふるさと祭りステージ発表

ステージ発表は、11月4日（月・祝日）庄内小学校体育館で実施しました。昨年同様各自治公民館に伝わる民俗芸能を中心にプログラムを組みました。観客席はイスにしましたので多くの方に楽しんで頂いたようです。



午前には庄内中学校吹奏楽部のオープニング演奏で始まり、7月の宮崎県吹奏楽コンクールでみごと金賞、その後の選考会では九州大会の宮崎県代表に選ばれました。8月24日に福岡市で行われた九州吹奏楽コンクールでは初出場ながら銀賞になりました。

さらに地区の保育園・こども園・幼稚園の発表や、各小学校の伝統芸能継承活動による民俗芸能の発表がありました。午後は南洲太鼓、今屋大太鼓踊り、町区相撲甚句などの民俗芸能やフラメンコ、空手の演武などの熱演を楽しみました。最後に司会をして頂いた北田恵美さんの歌謡ショーの後、お楽しみ抽選会で盛り上がりました。

第6回庄内地区防災訓練を実施しました

11月24日（日）午前7時30分から、南海トラフ～日向灘沖を震源とする「震度6弱」の地震が発生したとの想定で防災訓練を実施しました。地区内自治公民館10館（1,914世帯、4,879名）が安否確認・避難訓練などに取り組みました。災害時に自力での避難が難しい方（避難行動要支援者）95名の安否確認は、各自治公民館長と民生児童委員が協力して行い、全員の確認ができました。都城市消防団庄内分団（8部）も防災訓練の告知や安否確認に協力して頂きました。

今年度は各自治公民館との連絡は無線機（トランシーバー）を使って行いました。庄内地区公民館の災害対策本部には固定型の無線機を設置、サイレン塔のアンテナにつなぎましたので、乙房や関之尾など遠隔地との通話も問題なくできました。

庄内中学校1年生の地域巡見学習を行いました

庄内中学校1年生（69名）を対象にした地域巡見学習を11月29日（金）午前で開催しました。教育文化活動部会（花原恵子部会長）が主催し、今年で14年目になります。自分たちの住む庄内には、たくさんの歴史と文化があることに気づき、郷土に愛着と誇りを持ってくれることを期待して実施しているものです。

バス4台に分乗し地区内の史跡を回りました。ガイドは都城島津邸の山下真一前館長（庄内中出身）、庄内の昔を語る会（朝倉事務局長）と関之尾むかえびとの会（花原さん、佐々原さん）にお願いしました。見学先は平田かくれ念仏洞跡、乙房神社（田のかんさあ）、宮島中央権現、諏訪神社、山久院跡、三島通庸遺徳の碑、安永城跡、願心寺です。

雨が心配でしたが、だんだん良くなって最後は青空も見えていました。生徒たちは事前学習もしていたので熱心に説明を聞き、タブレットで写真を撮ったりしていました。

庄内地区まちづくり協議会事務局

〒885-0114 都城市庄内町 12692-2 庄内地区公民館内

TEL:0986-37-3488 FAX:0986-37-2728

ホームページ <https://www.bonchi.jp/shonai/>



まち協 HP

みんなでつくる 住みよいまち 庄内
庄内地区まちづくり協議会だより



令和7年1月発行 VOL.30

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。どなた様も新たな気持ちで新春を迎えられた事と存じます。日頃より庄内地区まちづくり協議会（以下庄内まち協）の運営と事業に、ご理解と暖かいご支援を賜りありがとうございます。

昨年は元日早々マグニチュード7.6の能登半島地震が発生し、能登半島一帯に甚大な被害をもたらした。翌2日には羽田空港で日本航空の旅客機と能登半島災害支援の物資を積んだ海上保安庁の航空機が衝突炎上し、旅客機の乗客乗員は全員無事脱出しましたが、海保の5名の職員が亡くなりました。

8月8日には大雨と雷が治まって、やれやれと思った瞬間マグニチュード7.1の地震が発生して、都城市は震度5強を観測し幸い被害は軽微でしたが、日南市や鹿児島県大崎町では震度6弱を観測し建物にも被害が発生して沿岸には一時津波警報も発令され、地震災害の恐ろしさを改めて知らされました。月末には台風10号が接近し宮崎市等では竜巻が発生し家屋や農業施設に甚大な被害を受けました。

庄内まち協では地震や台風などの自然大災害の発生に備えて、都城市地域活性化事業の資金を利用して、令和2年度から防災対策環境整備事業に順次取り組んで参りました。

避難所環境整備の目的で発電機や照明器具、炊き出し用かまど、リヤカー、担架等を購入したのに続き初期活動環境整備として、各自治公民館の自主防災隊の使用する大型バールや救急医療用セット等救命用機材や、ヘルメット、ヘッドランプ、ハンドマイク等を整備しさらにトランシーバー50台を各自治公民館関係者に配備しました。

今年度の防災対策環境整備事業では、大規模災害発生時には市の指定避難所だけでなく、身近な自治公民館や分館を一時（いっとき）避難所として活用することを想定して、各自治公民館に発電機や照明器具等を整備します。ソフト面で庄内まち協が主催して毎年行う庄内地区防災訓練も6回を数え災害発生時に備えております。



さて、庄内まち協の三大イベントの庄内地区スポ・レク大会は、秋晴れの中開催することが出来ました。庄内ふるさと祭りでは昨年に引き続きバザーとステージ発表を庄内小学校体育館で、作品展示を庄内地区体育館で実施しました。バザーは各自治公民館長を中心に実行委員会を組織し協力要請したところ、多くの出品が集まり大盛況でした。ステージ発表は各地域の伝承民俗芸能の発表など多彩なプログラムで楽しんでもらいました。作品展示では各出品者の力作が体育館全面に掲示され、準備・片付け作業は庄内中学校の生徒が手伝ってくれました。

庄内川一周 YOU 遊駅伝大会は準備を進めておりましたが、事前の都城警察署との協議で、道路使用許可の条件（安全面や交通渋滞）を満たすことが出来ず、残念ながら中止が実行委員会で決定されました。来年以降の開催内容については同委員会で協議して決めます。

新型コロナウイルスやインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎等の感染症の流行の季節になりました。体調管理に留意され、本年が皆様にとっては素晴らしい一年となることを心より希望致します。

令和7年元旦

庄内地区まちづくり協議会 会長 前田 和憲

庄内地区小中学校教職員の校区内巡見研修を行いました

8月2日（金）猛暑の中、庄内地区まちづくり協議会教育文化活動部会（花原恵子部会長）が主催し庄内小、乙房小、菓子野小教職員など14名を対象に、地区内の史跡・寺社などを巡る研修会を開催しました。

9時に庄内小学校に集合し、都城島津邸の学芸員松田さんにガイドをお願いしました。まずお軍神の三島通庸遺徳の碑や、三原叢五顕彰碑、その他の記念碑についての説明がありました。次に釣こつ院跡に徒歩で移動、都城島津家の墓石群の説明を聞きました。

庄内地区公民館でマイクロバスに乗り、昨年度リニューアル中に行けなかった関之尾公園に向かいました。関之尾むかえびとの会の田原さんと佐々原さんのガイドで関之尾滝を見ながら三大用水路の話や甌穴の話聞き、管理棟まで歩きました。

その後マイクロバスで移動し平田かくれ念仏洞跡を見学、都城島津家初代領主本郷資忠夫妻の菩提寺であった山久院跡、豊幡神社と回りました。

最後に願心寺に移動、山門の説明の後、本堂で松田さんの説明と大河内副住職のお話がありました。12時前に庄内小に到着しました。今までにない暑さでしたが、参加者の皆さんは熱心に聞いて頂きました。最後に菓子野小学校溝口校長先生より講評があり、改めて庄内の歴史と文化が理解でき、今後の子どもたちの教育に活かしていきたいとの言葉がありました。



宮崎県議会地域活性化対策特別委員会の現地調査がありました

宮崎県議会地域活性化対策特別委員会（脇谷のりこ委員長、委員11名随員4名）の現地調査がありました。委員会は地域公共交通や子育て支援、子どもへの教育、移住定住促進などをテーマに調査をされています。

庄内地区まちづくり協議会の調査内容は以下の通りでした。

(1) 地域公共交通に関する取組について

- ①. コミュニティバス「庄内ふれあい号」について
- ②. バス運転手の人材確保について

(2) 今後の課題について

前田会長、今村副会長、新地副会長、朝倉事務局長、松元支援員及び都城市総合政策課担当職員で対応しました。

庄内ふれあい号の運行について説明しましたが、県内どの地区でも高齢者の移動支援が課題になっており、多くの質問を受けました。住民が運行管理を行っている事例は少なく、今後も頑張りたいとの言葉をいただきました。



乙房小学校4年生の校外学習を支援しました

9月10日（火）教育文化活動部会（花原恵子部会長）が主催して、乙房小学校4年生（29名、枇杷真由弥先生）の校外学習を実施しました。マイクロバス2台に分乗し学校を出発、庄内地区公民館に移動し、「関之尾むかえびとの会」の佐々原さんが、関之尾滝を水源とする3本の用水路（南前用水路、



北前用水路、前田用水路)の説明をしました。その後、前田用水路の開発に尽力した坂元源兵衛の紙芝居「坂元源兵衛物語」を見られました。

子どもたちは「坂元源兵衛さんのおかげでお米がとれるようになったことが分かった」とか「源兵衛さんはあきらめない人だと分かった」などの感想を話してくれました。

その後9時40分頃公民館を出発、山田町の都城市クリーンセンターに移動し約1時間30分説明と見学を行いました。児童たちは1学期に学校で勉強していたらしく、職員さんのクイズにも的確に答えていました。その後の施設見学ではゴミをクレーンで持ち上げる作業のところが一番盛り上がりがありました。

庄内街区公園の藤棚を増設しました

庄内街区公園（城山公園）の藤棚を増設しました。庄内地区まちづくり協議会では都城市から庄内街区公園・庄内生活環境保全林公園の維持管理業務を受託しております。安永城跡にある地元の公園として、釘村美千也顧問（まち協初代会長）を中心に草刈りや、水仙や彼岸花を植えるなどの公園管理に努めてきました。

同公園の広場に藤棚があり毎年春先に開花しておりますが、藤棚が小さくて、はみ出した枝は伐採してきました。このたび支柱や受木を増設し、既存藤棚の6倍強の大きさになりました。来年から枝を伸ばしてくれることを願っています。

※ 既存藤棚面積約29㎡、増設後面積約182㎡



第25回庄内地区スポ・レク大会（歩こう会）が開催されました



第25回庄内地区スポ・レク大会が開催されました。昨年は雨のため中止になりましたが、今年は日差しが結構強いながらも、風があり気持ちよく歩けました。

庄内市民広場をスタートし、庄内川堤防の左岸を歩き、引土橋を渡り次は右岸を庄内橋まで歩き、帰ってくる約5キロのコースに114名の方が参加しました。

今年はまだ稲刈りが済んだ田んぼは少なく、黄金色の稲穂を見ながら歩き1時間20分前後でゴールしました。

堤防は宮崎県河川パートナーシップ事業を利用して地元農家さんの機械での草刈りを実施。9月28日には環境整備部会の皆さんや公民館長さんなどで一斉草刈りを実施していましたのでスムーズに歩けました。

令和6年度庄内地区壮年団体連絡会懇談会を開催しました

庄内地区壮年団体連絡会の懇談会を10月6日18:00より千草自治公民館で開催しました。庄内地区壮年団体連絡会は平成27年の準備会を経て、平成28年度発足しました。代表幹事は持ち回りで担当することとし、令和5年度は今屋壮年会の田村周一さんでしたが、今年度は千草壮年会の池上正一さんが務めています。

本日は壮年会の皆様（10壮年会）と各自治公民館長や副館長、まち協役員、市民センター長、地区公民館長計52名が参加し、大いに盛り上がりしました。

各壮年会の全員の自己紹介もあり、活動内容の報告や課題などの話がありました。多くの壮年会で会員減少が課題となっていますが、中には若手に引き継いでいるところもあり、参考になりました。地域にとって壮年会は無くてはならない存在ですので、今後の活動に期待します。



庄内ふるさと祭りバザーを開催しました

11月3日（日）10時から庄内小学校体育館でバザーを開催しました。バザー実行委員会（各自治公民館長とボランティアグループで組織）が2日に会場の準備、3日は早朝からバザーの品物を搬入、値付けを行いました。

地区の皆様のご協力で多くの品物が集まり大盛況となりました。みなさまから頂いた2,182点の品物を体育館いっぱい並べ、10時の開始とともに多くの方が来場され、お目当ての品物を手にされていました。昨年を上回る322,380円の売り上げがありました。ご協力ありがとうございました。